
あい・あむ・あ・きゃっと

りちうむいおん

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

あい・あむ・あ・きやつと

【Nコード】

N9444V

【作者名】

りちうむいおん

【あらすじ】

文学ってどんな話かなーとイメージしました。猫の話です。

(前書き)

文学ってどんな話かなーとイメージしました。猫の話です。

私は猫である。名前はキャット。

よく、この家の主人が奥さんや子供に、ネコに猫ってつけてどうするんだ、と言われているが、別に私は気にしていない。

雨の中ダンボールのなかで、あにゃあ鳴いていたことを思えば、今の生活は天と地ほどの差がある。

でもキャットフードは乾いたカリカリしたやつではなく、缶詰の方が美味しいです。

でも、ご主人のぼーなすとか、きゅうりようびとか、後風邪を引いた時だけしか食べられないけれど、それもまたありがたみがあったいいのかもと思うけれど。

さて、日向ぼっこでもしようかと屋根の上に出る。

涼しい風がびゅうっと吹き抜けて、空は真っ青で雲一つない。

何処までも見渡せるその先の景色は、白や灰といったビルが沢山並んでいる。

ご主人も毎日あっちの方に行つて、帰ってくることを繰り返している。

大変そうな顔で帰ってきて、家族に会うとにっこり。

猫も大変だが、人間も大変だ。

私？。飼い猫の今は楽かな。

にゃあ、とひと鳴きして背伸びをする。

最近、一番下の子供と遊ぶことが良くある。

人間で成長が遅いんだね。二歳なのに、塀の上だって歩けないんだよ。

まあ、面倒を見るのも飼い猫の勤めだけだね。

この前その子と写真を撮ったけれど、私って美しい茶色の毛をしていたんだってしみじみと思ったわ。

そうそう、この前猫の気持ちがかかるという玩具を付けられたん

だけれど、こんなもの付けなくても分かってよ、そもそも、首に何か付けられるの嫌いなものつて鳴いたら、やけにご主人がうな垂れていたわ。どうしたのかしら。

あれ以来付けられなくて私はいいのだけれど。

もう一度遠くのビルを見る。夜になると光がきらきらしてそれはそれは綺麗だ。夕涼みするのみなかなか心地よい屋根である。

あ、最近あったことと言えば、私、ねずみを捕まえたのです。

飼い猫だから野生の本能が、どんどん無くなっていったんじゃないかと思っていたんです。

でも、ねずみが目の前を走り去る瞬間、いつになく足が軽やかに動いて、ねずみを捕まえる事ができました。

あまりにも嬉しくて、ここのご主人に褒めてもらおうと寝ている顔の傍まで捕まえたねずみを持っていったのですが、ご主人が目を覚ました瞬間大きな悲鳴を上げて、その後とても怒られてしまいました。酷いです。

さて、今日の話はこれでおしまい。さきほどから、子供達の猫じやらしと遊んでいます。これが終わったら寝るのです。

飼い猫も飼い猫なりに気を使っているのですよ。

では、また機会があれば！。

(後書き)

ありがとうございました。ご意見ご感想をお待ちしております。

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になるうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能たんのうしてください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n9444v/>

あい・あむ・あ・きゃっと

2011年10月9日11時06分発行